

第三回製薬医学セミナーのお知らせ

(主催) 一般財団法人 日本製薬医学会 (JAPhMed)

(協力) 株式会社ライフサイエンスマネジメント

第三回開催のご案内

日本製薬医学会より、定例の製薬医学教育研修講演プログラムをご案内します。

今回は、アカデミアとメディアで活躍されている講師陣に下記3題について話題を提供頂き、参加者とのディスカッションに十分な時間を取る予定です。

意見交換の良い機会と思いますので、ご興味のある方は奮ってご参加下さい。

日時: 2010年7月24日(土)12:30 ~ 18:30
場所: アルカディア市ヶ谷 私学会館 <http://www.arcadia-jp.org/access.htm>
参加費: セミナー受講料=10,000円
(注: 開催前24時間以内のキャンセルの場合、返金は致しかねます)
申込: セミナー参加の有無を下記事務局までご連絡下さい
連絡先: 一般財団法人 日本製薬医学会(JAPhMed)事務局
〒102-8578 東京都千代田区紀尾井町4-1 ニューオータニガーデンコート21F
ランスタッド株式会社 (担当: 玉手、山川)
電話: 03-5275-1883、Fax : 03-5275-1878

👉 製薬医学については、JAPhMed HP をご参照下さい。 <http://japhmed.jp/about/pm.html>

【 プログラム 】

時間	12時30分から14時30分
演者	古川綾 (アイ・エム・エス・ジャパン株式会社 マネージメントコンサルティング シニアプリンシパル)
演題	処方医の行動変容: ネット情報とMR情報の比較考察
概要	ホームページやネット配信で簡単に文書化された情報が得られる時代、薬事法での医薬情報担当者であり、営業社員でもあるMR (Medical Representative)の役割はどうあるべきか? 処方医へのアンケート調査結果の分析から、インターネット情報とMR情報が処方医の行動に与える影響を考察する。

時間	14時30分から16時30分
演者	寺岡章雄 (東京大学大学院薬学系研究科・医薬政策学講座)
演題	「未承認薬のコンパッションネートユースの制度化をめぐる」
概要	ドラッグ・ラグ解消に向けての努力が続く一方で、未承認薬の入手については多くが個人輸入に依存している。現在、各国でコンパッションネートでの使用について様々な努力がなされており、その状況を解説するとともに今後の在り方を議論する。

時間	16時30分から18時30分
演者	西島 和三 (持田製薬株式会社 医薬開発本部 専任主事)
演題	「創薬プロセスの加速化および合理化: 構造情報の有効活用を事例として」
概要	新薬開発は確率 1/数万という非常に非効率的な事業である。本講演では、不確実性が極めて高い探索ステージにおける非効率性改善の最近の試みを紹介すると共に、標的タンパク質の構造情報の活用についてこれまでの知見と将来展望を考察したい。

